

## シックハウスについて考える(シロアリ対策は大丈夫か?)

9月のNHKの『ガッテンガッテン』番組でシックハウスの事が取り上げられていました。その中で新築の家も何十年も経っている家もホルムアルデヒドの測定では、大体同じ位の数値でした。

新築の家は、新しい建築基準法に乗っ取って建てられていますので、何でこのホルムアルデヒドが基準より高いのかは、番組内では、家具とかが問題になっていると考えられたり、又建築基準法に合った押入れなどの建材も、閉め切った時間が非常に長いと何らかの問題が発生し易いと言っていました。そこで押入れに扇風機で風を送る事をすれば、押入れの中の換気が良くなってふとん等に付く有害物質が少なくなりますとも言っていました。しかし一週間に一度でも、現実的に忙しい日本人が、ずっと続ける事が出来るかは、私は、甚だ疑問に思います。

又同番組の中で湿度が高いと、シックハウスの傾向が非常に高くなると言っていました。しかしあまり湿度を低くすると風邪を引きやすいつかの別の問題が生じてきます。と私は考えますが、建築士さんのお考えを是非教えて下さい。

少し違う話ですが、我々材木業者の極一部しか把握できていませんが、シックハウス以外に問題が発生している事をお知らせ致します。それはシロアリ問題で有ります。合板等の建材はホルムアルデヒドの規制で環境に非常に考慮された商品になっていますが、人に優しいと言う事は、シロアリにも優しいと言う事です。(情報1、合板の等級)

シロアリが付きにくい合板は以前使われてきた、F☆☆☆の物です。少し余分にホルムアルデヒドを出しますが、シロアリが、付きにくい建材です。ホルムアルデヒドの問題とシロアリの問題は正に表裏一体の問題なのです。こちらを立てればこちらが立たずと言う、問題と考えております。

又同番組の中で面白い事を北里大学の坂部教授が言っていました。シックハウスの研究でパソコン等の電気製品も有害物質を出しますとの事でした。ホルムアルデヒドの研究者の気の使い方のご苦勞は尋常ではありませんね。しかしそこまで真剣にならなければ、研究にならないのだと感じました。もっともっと坂部教授には、頑張ってくださいと私はエールを送ります。

### 服部商店が推進する本当の木の家のモデルルーム



壁板 米ヒバ 腰板 タモ

床 アルダー

天井 アガチス

窓枠 チエリー

(情報1) ホルムアルデヒドの含有量で合板、家具とかにマークが添付されています。

F☆☆☆☆ (所謂4スター)と言われる商品です。使用面積の制限は有りません。

F☆☆☆ (所謂3スター)と言われる以前の商品です。使用面積の制限は有ります。

この間建材商社の人間と話した情報を以下に書きます。F☆☆☆☆の商品を使った住宅で、シロアリの被害で裁判になっている例が有るとの事を私が聞いた事です。其のときの先方の答えはこうでした。『シロアリの卵が、付着した場所が特定出来ないの、最終は和解になります。和解とは、納めた建材類の代金は頂かないのです！』

私はこの件について考えは以下のとおりです。シロアリ対策はしなくては行けないので、床下の構造用合板は F☆☆☆ (3スター)の商品を使う。この場合直接、構造用合板は人体に接しないので、まず大丈夫、そして使用面積の制限に引かかるので、無垢の木材をふんだんに使う。

ただ一番のシロアリ対策は、土台にヒバ(内地・米材)を使う事です。

シロアリ対策に非常に優れている材はヒバの土台です。

ヒバの土台を使った建築士様が如何ほどいるのか知りたいので(アンケート1)宜しく願いいたします。

**『無垢は、健康木材です。無垢を適材適所に使えばシックハウスの問題は起こらない上にシロアリに強い家が出来ます。』**

## 輸入原木状況 原木高の製品安続く

アラスカ材の原木の入荷が最盛期です。しかし品質の低下は著しく、お客様に満足して頂ける材は、皆無と言ってもおかしくない状況です。弊社はいつも冷静に仕入れしていますので、今回入荷している原木は、仕入れしない事にしました。

二つの商社の約 800 本のスプルース原木(約4,000M3)を一本一本丁寧に、商社の案内で見せて頂きました。しかし弊社に向いた原木ではなかったため、今回は見送らせて頂きました。

しかし、全体の売れ行きは好調と聞いております。何故か、それは国内の消費量が減っていてもそれ以上に供給側量が減っているからです。

北米の針葉樹の輸出国は、アメリカとカナダが有るのですが、日本が価格的に安いので先方の国のシッパーも日本に輸出するより、中国に輸出した方が得であると考えだしています。又流通が変化しているのかアメリカから輸出される原木が、中国から完成品となって日本に輸出されているのです。まな板などは、その典型です。



この間新聞紙上で、面白い事が掲載されていました。それは鉄製品を大量に日本から買っていました中国が、生産設備が過剰になってしまっていて、国内消費より多く鉄製品が出来るようになってしまったと言う事です。この事を新日本製鉄の会長のコメントとして、猶予しなければいけない状況になっているので、よく中国を観察しなければならないと報じていました。

木材の話に戻すと中国から入って来ているスプルース材は主に34ミリ~36ミリの板です。品質は検品がしっかりしていない材が殆んどです。又建築士の皆様に満足して頂ける商品構成になっていません。それはサイズの問題が有るからです。

服部商店は建築士様から信頼される品質、あらゆるニーズに対応出来る商品構成にて対応させて頂きます。

## 原木の品質低下に対して新しい取り組みをする



良い原木とは中身が良い事で有ります。左記原木の外観は非常に良く有りません。多く節が有りました。しかし服部商店は自家工場が有り、製材技術でカバー出来ます。

弊社が今取り組んでいるのは、神様が与えてくれた『木』その物の品質が悪くなくても、お客様に今まで以上の品質の商品を提供していこうじゃないか、と言う取り組みです。

口では簡単に言えますが、実行して行くのは容易では、有りません。しかし原木の製材の仕方も、今まで踏襲してきた70年の歴史と、手間を惜しまない事を実行すれば、可能だと答えが出ました。

人間の場合、いや私の息子の場合を例にする訳では有り

ませんが、幾ら手塩に掛けても言う事を聞かない子供が、世の中に現実にいるのに、人間の勝手で、この木は良くないと言う一語で言い切ってよいものでしょうか？自然の贈り物『木』をもっと大切にしようではありませんか？

良い原木(所謂ハイソート原木・情報2)は誰が見ても『良くて当たり前』良いのです。しかし非常に価格は高いですし、日本人皆様に素晴らしい木材を僅かの優良材原木ではまかないきれません。手間と時間を掛けて丁寧に製材から何もかもするのは材木屋の指命では有りませんか？ 原点に戻って特にこういう時代は材木業者の技術を発揮するものと考えております。

(情報2)スプルース原木の所謂上のグレードをハイソートと言う。其の量は全体が100本有れば、大体3~5%しか有りません。

# 床暖房フローリング実験室データー

服部商店ではPCメープル・Bチェリー・Wナット・Hアッシュ・Rオーク・Hメープルと七種類の床材をテストしています。二ヶ月経った結果をご報告致します。

最初一番気にしていた、暴れる事が起きるのかは、商品の改善(加工の変更と特殊塗料の裏面への塗布)と施工方法によって大きな問題は生じていません。

数値データーの結果を以下にご報告致します。



床の温度を毎日四回測定する



床の形状変化を毎日四回測定する

注目して頂きたいのは、一番暴れると思われたハードメープル材の数値が比較的小さく、おとなしいと思われたアルダーの動き方が大きいのが意外な結果でした。

確かに数字で見る限り床暖房に適している無垢のフローリングはあえて順番を付けるならアメリカブラックチェリー・PCメープル・ブラックウォールナット・レッドオーク・ハードメープル・ホワイトアッシュアルダーでした。

この数字データーを大阪営林署の松山博士に見ていただきました。

以下の様に仰っていました。

- 1、木材の産地によってもかなり個体差が現実には有る。
- 2、アメリカシッパーの人工乾燥能力にも違いが出る。

服部商店は世界一の木材業者のアメリカのウエハウザー社の素材を使用しています。上記1番と2番の問題をクリアするのに一番良い選択取と考えたからです。

以上の数字データーは抜粋した物です。これくらいの数字では解らないと思われる方は別紙アンケート2にお答えください。はっきりしたデーターを送ります。

フロリングサイズは厚み18ミリ、巾105ミリ、長さ乱尺です。

巾の形状変化を主に見えています。

材質	二ヶ月後の形状変化(%)
アルダー材	0.0725%
パシフィックコーストメープル材	0.0449%
アメリカブラックチェリー材	0.0442%
ブラックウォールナット材	0.0590%
レッドオーク材	0.0609%
ホワイトアッシュ材	0.0710%
ハードメープル材	0.0693%

\* 長さ方向の変化は生じていません。

\* 形状変化は、巾方向が大半で有ると松山教授から聞いております。

## 木材価格とライフサイクルコストを考えた、リニューアルしている自分の家

中国とか、マレーシア、インドネシア等から、安い商品が山のように入ってきていますが、彼らは華僑です。お金儲けの為だけに木材を扱っているのです。私は10年ほど前にマレーシア、インドネシアと2週間行きましたが、其の時現地人に聞いた話はこうでした。『マージャンで山の権利を賭けるのだと。』という事は、国有林の森林を非合法で伐採している証拠なのです。

今合板が非常に高くなっていますが、今迄が安すぎたのです。ようやく正常に戻りつつあるのです。木材の価格は、まだまだ安いです。鉄と比較して安いです。しかし安い今こそ、建築士の方に『本間物の木の家を作って下さい。』と思います。

私は今住んでいる家が20年経つのですが、空調設備とかが殆んど変える時期に来ています。結構お金は掛かりますね。家の空調設備は当時流行のフルセントラルヒーティングですが、元の状態にはリニューアルせずに毎月の費用が安くつく設備に変更しています。今思った事は、もっとライフサイクルコストを頭に入れて建てれば良かったと思っております。便利さの追求も大事ですが、30～40年のトータルのお金も考慮した家作りの方が良かったかな？と思っています。

きっと建築士様におかれましても、そう言う家作りをした方が本当はお施主様に喜ばれるのではないのでしょうか？

## オーダーキッチン

弊社のお客様で、今までは箱物家具を作っていましたメーカーさんが新しい商品を開発しました。無垢のキッチンです。さすがの仕上がり具合になっています。この商品は大量生産型の物ではございません。所謂『オーダー』の商品です。このキッチンの材質はアメリカ広葉樹の王様のウォールナットで作っています。この商品は見えない所に数多くの施しをしてある、ちょっとそこいらには無いキッチンなのです。隠れた裏技が多く取り入れられており、説明を聞けば『オー』と思わず唸ってしまいます。『メンテナンスをして頂ければ優に100年以上使える商品です。』



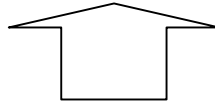
この商品は試作品ではございません。日本海側の家具の小売店さんに展示して有り、もう世の中にお披露目されている商品です。第二段のL型キッチンも製作する手筈になっています。楽しみにしています。

このキッチンを持って行ったところで面白いエピソードが有った。と家具メーカーの社長に後日聞きました。その内容は『〇〇県と両隣の県には売らないで下さい』と言う事なのです。その意味は直ぐ解りました。一週間もしないのに、10数件の引き合いが、家具店さんの方に来ていると聞いております。

こういう商品が望まれてきた商品なのではと、実感しております。

服部商店はこの商品を取り扱っても良いと言う事を、メーカー様にお許しを頂いております。引き合いしてみたいと思われる方は、別紙アンケートにお答え下さい。図面及び使っている器具等の詳細を送ります。(アンケート3)





**FAX番号072-422-8577**

アンケート

Q 1、ヒバ（内地・アメリカ）のヒバの土台を使った事がある。

はい

いいえ

Q 2、フローリングの詳しいデータ（数値）が欲しい。

はい

いいえ

Q 3、オーダーキッチンの図面及び仕様表等の資料が欲しい。

はい

いいえ

御社名	
ご担当者名	
電話番号	
FAX番号	

株式会社 服部商店  
大阪府岸和田市木材町16-1  
TEL 072-438-0173  
FAX 072-422-8577  
担当 服部雅章